



「さようなら原発！烏山地域の会」ニュース

No.1

2012年11月23日

烏山地域にお住いの皆さま、こんにちは。私たち「さようなら原発！烏山地域の会」は、去る11月3日に結成されたばかりの、原発の廃止を願う人々の集まりです。

福島第一原発の事故は、未曾有の放射能被害をもたらしました。原発は安全で発電コストも安いと宣伝されてきましたが、一旦事故を起こすと、私たちや子どもたちの健康を脅かす極めて危険なものであることが、はっきりしました。また、その損害を償おうとすれば、莫大なお金が必要になり、原発コストは決して安いものではなく、私たちの電気料金の値上げとなって跳ね返ってくることは明らかです。

私たちの会は、1日も早く、原発をなくすために、これからいろいろな取り組みを行ってまいりますので、皆さまの寄付等によるご支援、ご協力をお願いし、できればこの会にご加入いただくことを訴えるものです。

結成式の報告

2012年11月3日(土)、烏山区民センターにて「さようなら原発！烏山地域の会」の結成式が行われました。50人を超える方々に参加いただきました。

1. オープニング

オープニングは、劇団俳優座の神山寛氏により、被爆者の救援・治療にあたってこられた医学博士、肥田舜太郎の証言「未来に続く命のために、原発はいらない」を、10分余にわたり再現していただきました。まるで、肥田先生が目の前にいて話をしているかのようで、放射能の恐ろしさを実感しました。

2. 代表世話人挨拶

次に、代表世話人、下村由一(千葉大学名誉教授)に続き、岡信行(元品川地区労働組合協議会議長)、箕浦敏子(子どもの本の勉強会主宰者)各氏が挨拶をいたしました。

そして、所用で参加できなかった遠藤秀賢(真宗大谷派乗清寺住職)、小塩海平(東京農大准教授)、高橋和夫(天理教千山分教

会長)、渡辺信夫(東京告白教会前牧師)各氏からのメッセージが読み上げられました。

3. 来賓挨拶

来賓として参加いただいた、「さようなら原発！世田谷の会」の竹内逸郎さんからは、連帯の挨拶をいただきました。

4. 記念講演

結成式のメインイベントとして、木本忠昭(東京工業大学名誉教授)から、「科学技術から見た原子力発電」と題して、記念講演を行っていただきました。

講演では、原子力は必須の電源といわれるが、アメリカではスリーマイル島の事故以来、一基も建設していないのに、産業はちゃんと回っている。

また、原発は発電コストが5~6円/kwhで安いというが、事故が起きる建前でみると、下限でも9円/kwhで、上限は示せないほど高いということを政府も認めた。

ラムッセン報告で、原発事故は流れ星に当たる確率ほど小さいと言われたが、外から壊されることは想定していなかった。

原発は制御できない。東電は撒き散らかした放射能は無主物で責任を負えないという、あきれた態度をとっている。

廃棄物は地中300m以上に埋めることにしているが、めどは立っていない。

原発から撤退し、自然エネルギーに転換が求められる。等々、盛りだくさんの話があり、大変勉強になりました。



5. アピール文採択

最後に、結成式のアピール文を全会一致で採択し、1日も早い原発からの撤退の決意を固めました。

結成式参加者アンケート

1. 結成式の感想

・朗読、講演とてもよかったです。勉強になりました。内容が多すぎてちょっと頭に入りきれませんでした。今後小分けにして勉強の機会をつくってください。

・神山寛さんの朗読、木本先生の講演、素晴らしかったです。

・素晴らしい方々が、先頭に立ち、素晴らしい会が発足した事は良い事です。しかし、いかに賛同者、共に活動する多数の人を集めるのは大変ながら大事な事です。会報の発行を待っています。

・神山さんの力強いアピールに続いて、木本先生ののていねいな原発の正体についてのご説明に、日本だけでなく、地球全体でなくしていく努力をしたいと思いました。

・オープニングの朗読はすごい迫力がありました。木本先生のはなし、歴史的な科学者や政治家のうごきなども含めてよくわかりまし

た。日本がいかにか何も考えずに“もうけ”のことだけで導入にふみきったのか、あらためて怒りがわいてきました。

・福島の事故や過去の原発について知ることができて良かった。

・非常に時宜を得たもので大賛成です。今後運動に少しでも役立つ活動に参加したいと思います。

2. 今後取り組んで欲しいこと

・学習会、反対パレードなど。

・原発はNO!と声を上げて活動する。今、この時にやらなければならないこと、どうしたら良いか、大きな原点をきちんと学びたい。

・若いパパ、ママなども対象としたミニ勉強会やパレードをやりたいですね。活動資金を集めることも含めて、バザーとかやるのもいいかも。さようなら原発！世田谷の会の方々と協力して、世田谷区や区議会に「原発ゼロ宣言」をあげるよう提言するとか。

・福島等の今後の対策、影響を知ることができる勉強会や被災者に対して、できるだけ働きかけ等を考えてください。また、自然エネルギー等利用についての勉強会も希望します。

・他の会とも協力して大きな運動としたい。

・政府のでたらめな政策に適切に対処できるようにあらゆることを行ってください。

3. 会への要望

・パレードなども呼びかけてください。

・昨年の世田谷の会発足時に烏山から一日も早く声をあげて行動しなければ...提言したのが実現できたのは喜ばしい!

・運営を民主化し、適切な会議、適切な人材を発掘して積極的に行動してください。

11.11 東京大包围 100 万人集会開催

11月11日、首都圏反原発連合主催の「11.11 反原発 1000000 人大占拠」が行われました。日比谷公園使用許可は、東京都が拒否し、東京高裁も抗告を「棄却」したので、デモは中止になりました。

過去、東京都は3月、7月には公園の使用を認めていたのに、今回、認めない態度に出たことは、日本の民主主義にとって重大な問題です。

やむを得ず、15時から首相官邸前、国会議事堂周辺の抗議行動からの開催となりました。

首相官邸をはじめとする各省庁等の抗議エリアには続々と人々が押し

寄せ、抗議の声をあげました。

若い人たちによる鼓笛隊は迫力満点、また、多くの参加者が、準備するのが大変だったろうな、と思えるデコレーションをつけて訴え、目を引きました。

ファミリーエリアでは、子どもたちも参加、ハンドマイクと一緒にシュプレヒコールをあげ、拍手を浴びていました。

「未来とは何か。それは子供たちそのものではないでしょうか」という訴えに、子を思う親たちの気持ちがこの行動に駆り立てているということを実感しました。とにかく若い世

代の人たちが多いというのがこの行動の特徴だと思いました。

ときおり、車体そのものから光を放つ自転車の若者たちが、片手をあげてガッツポーズをし、抗議行動に連帯の意思表示をしていました。

夕方から、あいにくの雨になりましたが、冷たい雨をものともせず、抗議行動を続ける人々に、何か熱いものがこみ上げてきました。私たち烏山地域でも、大きな輪にしていきたいと思います。

(S・T)



募金への協力のお礼

皆様方のご協力により、11月23日現在の募金が109,933円集まりました。

うち、11月3日の結成式当日の募金が、49,001円です。

今後の一層の活動強化に向けて、今後ともご協力のほど、よろしくお願ひします。

募金は銀行振り込みでも受け付けております。預金口座は

金融機関名：ゆうちょ銀行

店名：〇一八（ゼロイチハチ）

店番：018

預金種目：普通預金

口座番号：0057349

口座名義：「さようなら原発！烏山地域の会」です。よろしくお願ひします。

都知事・都議補選、そして総選挙実施！

圧倒的多くの国民が「原発再稼働反対、原発ゼロ」という声を上げているのに、なぜ政治に届かないのか、この間、多くのみなさんが感じてきたこと。

それがいよいよ、チャンス到来です。12月16日（日）に、都知事選挙、都議補選と衆議院選挙が行われるからです。

投票にあたっては、はっきりと、原発再稼働反対、原発ゼロを掲げる候補者に投票しようではありませんか。

表向き原発反対をとнаえてはいても、事実上、財界やアメリカの圧力に屈し、原発の稼働を認める候補者もいるので、よ〜く見極めることが大切です。

会員、目下、募集中

本会の会員を募集中です。原発ゼロを願う方ならだれでも加入できます。ふるってご参加ください。

連絡先：Tel&fax 3300-6525

Eメール nonukeskarasuyama@gmail.com

